

製品名: EphB2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87531**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:118 kDa; Observed MW:130 kDa

抗原情報

遺伝子名	EphB2
別名	DRT; EK5; ERK; CAPB; Hek5; PCBC; EPHT3; Tyro5; BDPLT22
遺伝子 ID	2048
SwissProt ID	P29323
免疫原	ヒト EphB2 の組み換えタンパク質

背景

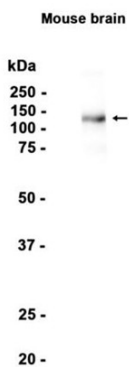
この遺伝子は、受容体チロシンキナーゼ膜貫通糖タンパク質である Eph 受容体ファミリーのメンバーをコードしています。これらの

受容体は、N末端に糖鎖が付加されたリガンド結合ドメイン、膜貫通領域、および細胞内キナーゼドメインで構成されています。エフリンと呼ばれるリガンドに結合し、運動、分裂、分化など、多様な細胞プロセスに関与しています。Eph-エフリンシグナル伝達の特徴は、受容体とリガンドの両方がシグナル伝達カスケードを伝達し、双方向のシグナル伝達をもたらすことです。このタンパク質は、Eph受容体のEphBと呼ばれるサブグループに属します。このサブグループのタンパク質は、配列相同性と膜結合型エフリンBリガンドへの優先的な結合親和性によって、ファミリーの他のメンバーと区別されます。対立遺伝子変異は、前立腺がんおよび脳腫瘍の感受性と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物変異が生じます。[RefSeq 提供、2015年5月]

研究分野

-

画像データ



EphB2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。